

人々が懸命に生き抜いた痕跡を辿り、布が如何に大切であったのかを知ること、
藍で染めることの意味、本当の豊かさや美しさとは何かを考えたい。



写真 生津勝隆

令和5年
8月25日(金)～27日(日)
10:00～17:00

徳島県立21世紀館1F多目的活動室
(徳島県文化の森総合公園内・徳島市八万町向寺山)

入場無料

作品解説 | 26日(土)13:00～ | 四国大学名誉教授 野田良子

基調講演 | 27日(日)13:00～14:30 | 明治大学准教授 鞍田崇

作るのではなく、生きる—いまなぜ民藝か

— 事前申込制(定員30名) 申込締切:8月20日(日)

受付Eメールアドレス:noriko-s@shikoku-u.ac.jp

※件名に「暮らしの中の藍布・基調講演」と記載し、
氏名・当日の連絡先電話番号をご明記のうえお申し込みください。

四国大学「藍の家」所蔵品展
暮らしの中の
藍布



SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

主催 | 四国大学 学際融合研究所
問 | 088-665-1300(代表)
助成 | 徳島県 としま文化・未来創造支援



四国大学研究ブランディング事業
(SUBARU事業)